

尼崎市総合計画審議会資料
資料第2号—2
平成29年7月19日

## 総合計画の検討内容（案）

尼崎市



# 後期まちづくり基本計画の評価等について

## 【第1回目の総会におけるの諮問内容】

①後期まちづくり基本計画の策定について

▶ 10月答申に向け審議中

②後期まちづくり基本計画の評価等について

▶ 次回総会より検討を開始(予定)

## 【諮問にあたっての課題認識】

### ●総合計画の進捗管理(PDCAサイクル)を強化する必要性

・近年、総合計画をはじめとする行政計画の策定にあたっては、その着実な推進を図るべく、進捗管理手法の確立も求められてきております。本市の総合計画についても、前期計画策定以降、毎年度「施策評価」を実施するなど、その進捗管理の仕組みの構築をすすめているところです。

・部門別計画の中には、その策定のみならず、進捗管理においても附属機関の関与を受けて実施しているものもあります。一方、総合計画審議会については諮問に係る調査審議事項が終了した時点(計画答申後)で、委員が解嘱されてしまうため、総合計画においては進捗管理に関与していただけていない状況です。

・5年後には基本構想の年限が到来するなか、次期総合計画の策定を見据えた場合、計画の進捗管理に審議会に関与いただくことで、現行計画の達成状況や課題をふまえ、継続的に議論をしていただけることになり、その策定に大きく寄与するものと考えます。

### ●総合計画と部門別計画との連携を強化する必要性

・行政計画の最上位計画であるという総合計画の位置づけから、総合計画と部門別計画は互いに整合性を図りながら策定されています。一方、前述のとおり、進捗管理手法の確立が求められるなか、その過程で行われる「評価」においても整合を図っていくことも必要と考えられ、総合計画と部門別計画はより一層の連携強化が求められています。

・そのようななか、市の行政計画を統べる総合計画を所管する総合計画審議会において、分野別計画の進捗状況や課題を共有することは総合計画の進捗管理にも有意義であり、次期総合計画の策定にも大きく寄与するものと考えます。

## 検討いただきたい主な内容

- ①総合計画審議会の常設化及び総合計画の進捗管理における関与のあり方
- ②総合計画と部門別計画の連携のあり方 など

## 今後のスケジュール(予定)



